

【理科1年】

学 期	単 元	学 習 内 容	評価方法
1 学 期	単 元 1 い ろ い ろ な 生 物 と そ の 共 通 点	第1章「生物の観察と分類のしかた」 ○第1節 身近な生物の観察 ○第2節 生物の特徴と分類	【知識・技能】 ・小テスト ・章末テスト ・単元末テスト ・実験・観察に関するレポート など 【思考力・判断力・表現力】 ・章末テスト ・単元テスト ・実験・観察に関するレポート ・ワークシートの記述 など 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元・評価計画シート ・ワークシートの記述 など （個人思考・グループ思考）
		第2章「植物の分類」 ○第1節 身近な植物の分類 ○第2節 果実をつくる花のつくり ○第3節 裸子植物と被子植物 ○第4節 花を咲かせず種子をつくらない植物 ○第5節 さまざまな植物の分類 ◎章末テスト	
		第3章「動物の分類」 ○第1節 身近な動物の分類 ○第2節 セキツイ動物 ○第3節 無セキツイ動物 ○第4節 動物の分類表の作成 ◎章末テスト	
		◎単元末テスト	
学 習 方 法		【授業の進め方とポイント】 ○前時の内容に関する小テストを実施することがある（3～5分）。 ○毎時間、ワークシートを使って学習に取り組み、その後、教科書で学習内容を確認する。 ○授業中に話し合い活動を行う場合は、個人思考を行った後に、グループ思考を行う。また、グループ思考では、グループ内で意見交流をした後、自分の考えの変容をワークシートに記述する。 ○実験・観察の授業では、前時に実験計画を立て、それをもとに活動を行う。もしくは、ワークシートに書いてある実験計画に沿って行う。また、実験・観察の結果や考察は、グループごとに実験・観察用シートに記入し、その後、全体で意見を共有する。 ○毎時間、My 学習マップに、学習内容の振り返りを記入する（その授業で学習した重要語句をまとめたり、分かったこと・疑問に思ったことを自由記述したりする）。 ○章末には、その章でのワークシートや学習整理を範囲とする章末テストを実施する。 ○単元末には、その単元を範囲として作成した単元テストを実施する。 【家庭学習の進め方とポイント】 ○毎時間の授業で記入したワークシートを見返し、学習内容を定着させる。 ○毎時間の授業後に、その範囲の学習整理を解く（その日のうちにできなくても、週末には、	

	授業進度に合わせて学習整理を進めておく。 ○My 学習マップをもとに、章末テストの対策に取り組む（授業でのワークシートや学習整理を活用する）。 ○My 学習マップをもとに、単元末テストの対策に取り組む（テストは、授業でのワークシートや学習整理を範囲として作成する）。
--	--